

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA		THE YS MENS CLUB OF ATSUGI
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED IN 2004		4 - 1 6 - 1 9 NAKACHO AT SUGI KANAGAWA JAPAN 〒 2 4 3 - 0 0 1 8 TEL 046(223)1441 担当主事 吉永貴弘

2014年12月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第123号

主 題 堀田クラブ会長 若者とともに楽しく活動しよう
 主 峰尾湘南・沖縄部部長 一人は皆のために、皆は一人のために！
 田中博之東日本区理事 誇りと喜びを持って
 題 アジア地域会長 未来を始めよう、今すぐに
 国際会長 言葉より行動を

今月の聖句 (強調月間：EMC・MC 会員増強、維持啓発)

なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、目標を目指してひたすら走ることです。

フィリピの信徒への手紙 3章13節～14節

10月例会報告
ワイズメンズクラブってなに？
「新しい方々をお迎えして」



講師 北村文雄
 ワイズメンズクラブは、青少年育成団体・YMCA (ヤングメンズ クリスマス アソシエーション) の活動を支援する

ことを、第一の目的として、地域、国際社会に奉仕する国際的ボランティア団体です。

YMCAは1844年に英国で創設されました。その頃英国は100年の長きにわたる産業革命がもたらした貧富の差がひどくなり、青年の多くが前途に希望を失い墮落が目に見える状態でした、この窮状を打破すべく、ロンドンでジョージ・ウィリアムら12人の青年クリスマスが立ち上がり、青年に対する啓蒙、生活改善事業のための奉仕組織を立ち上げたのが始まりです。

現在、世界125国に約4500万人の会員を有する世界最古最大のNGO団体に成長し、青少年指導者育成、生涯学習の普及、国際理解の推進、災害支援ボランティアの活動などの事業を展開しております。

記録をみますと、バスケットボール、バレーボール、キャンプ、ボーリング、スクーバダイビングなど日本に普及させたのはYMCAなのです。

ワイズメンズクラブは、1920年米国オハヨー州トレドで発足、2年後ワイズメンズクラブ国際協会が設立されました。

日本では、1928年大阪に最初のクラブが奈良伝によって誕生し、1932年国際協会に加盟、1932年日本区を設立、1997年東西日本区にと成長発展してきました。

私共の属する東日本区は13年1月現在65クラブ、会員数1,053人です。世界の現状は70カ国にクラブがあり、会員数は3万人です。

ワイズメンズクラブの活動は

☆YMCA支援、協力 青少年育成などを目的とするプログラムを積極的に支援。HIV/AIDSに対する啓蒙奉仕活動支援、チャリティーラン支援、

☆地域社会奉仕 障害者支援、清掃奉仕、東日本大震災の被災者支援、募金活動、物資支援、被災地ワークなど

☆国際交流 海外クラブと兄弟クラブを締結・交流、海外クラブ訪問、例会の一食分を献金、そのお金を国際協会本部に集め、途上国を援助しています。

(厚木クラブの場合、皆様の年会費のほぼ3分の一が奉仕活動費として支出されております。)

例会データ	11月	在籍会員	18人
会 員	13人	メイキャツプ済み	
ビジター	1人	出席率	
ゲ ス ト	人		
合 計	14人		78%

例会のご案内	会 長	堀田 哲郎
原則として第4水曜日18時半	副会長	石井 芳隆
から2時間	副会長	谷口 四郎
お問い合わせ先	副会長	田中 勝子
Tel 046-223-1441 吉永貴弘	副会長	佐藤 節子
	書 記	小林 秀
	書 記	千葉 裕子
	会 計	岩淵 正弘



ワイズメンズクラブは社交クラブでもあります。例会や奉仕活動で明るく楽しく過ごし、そこで湧き出てくるエネルギーをさらに奉仕活動に振り向けていくのです。ワイズメンズクラブは人生を心豊かにしてくれます。

たとえば月一回のクラブ例会に出席しますと

- 1.有益な卓話を聞くことができます。
- 2.会員中の様々な職種の人と友人になり視野が広がります。
- 3.YMCAや地域社会への奉仕活動に参加できます。
- 4.全国的、国際的な交流に参加し見聞を広めることができます。
- 5.会員の家族ぐるみの親睦・協力の機会も多いです。

(小林 秀)

秋晴れの公園にとどろく歓声

第17回横浜YMCA

インターナショナル チャリティーラン



秋晴れの10月25日(土)横浜臨港パークで、5人1チームの編成で120チーム合計600人ランナーとお手伝い合わせて千人近くの横浜YMCA最大イベントが行われました。

厚木クラブの代走として厚木Y日本語学科のアレックス君、カクさん、スラジュ君、ザイン君、ディネシュ君が出走の予定でしたが、ディネシュ君の都合が悪くなり欠席でスラジュ君が2回1,100mのコースを走ってくれました。

今回気がついことは、いろいろな国々の人が走ることで、崎陽軒の折角の美味しいお弁当が宗教上の制約で食べられない人がいること、走ってくださった皆さんはお国ではよく走っていて走ることを得意としている人達ですが、日本へ来てからは電車に乗り遅れそうになると走る程度で、走る機会がなくなり、当日急に走

ったので筋肉を傷めたり、たいへんなようでした。来年からは走る前に十分足慣らしをしてもらう必要があるのではといった事です。

昼食を共にするはずでしたが、混雑してお互いに見つからず、それぞれ単独での昼食になったのは残念でした。幸い食事後再会できましたので、持参のデザートを差し上げて労をねぎらいました。

厚木市文化会館見学



11月10日(月)

会館閉館後に田中理事、石井委員長はじめ当クラブ関係者会館の長嶋事務局次長、女子職員の方のご案内で5階から地下2

階までくまなく会館内を見学。

写真は1500人余りを収容できる大ホール、5階には屋上庭園を備えた50人収容できるりっぱな和室。4階3階には会議室、集会室加えて茶室、お昼の弁当をとるのにもってこいの80席の休憩室。1階大ホールの舞台も芝居ができるほどの広さ。パナーセレモニーにもってこいの広さと思いました。地下は控室、支度部屋など。とても一回の見学では覚えきれない広さに驚嘆の声。こんな素晴らしい会場を与えられ、すばらしい大会にシなくては罰が当たると思いました。

(田口)

12月事業予定

☆12月1日(月) 東日本区大会準備会

18時半~ 厚木YMCA

☆12月20日(土) 厚木クラブ例会

今秋の各部部会でのPRから本格的にスタートした大会準備活動、これからが正念場、クリスマス、忘年会、そして慰労と親睦を兼ねた例会を検討願っています。

乞うご期待!